

【解 答】

脾内副脾に発生した類表皮嚢胞 (epidermoid cyst)

解説：

類表皮嚢胞 (epidermoid cyst) は1980年に Davidson らにより初めて報告された疾患である。上皮由来の良性病変で、先天的なものでは胎生3~5週の神経管閉鎖の時期に外胚葉の一部が迷入することによって生じ、後天的なものでは外傷や手術などで上皮組織が迷入することにより生じるとされる¹⁾²⁾。全身のさまざまな臓器に発生する可能性があり、嚢胞は皮膚付属器をもたない上皮のみに形成され、嚢胞壁や嚢胞周囲に脾組織が認められる。内容液は漿液性、粘液性、ゼラチン様、コレステリン様などさまざまである。本症例では脾内副脾から発生したepidermoid cystであった。

副脾は脾、肝、腎、副腎、胃壁、結腸壁など多臓器の内部で認められ、胎生期に脾原基が他臓器の原基と近接していることが原因とされている³⁾⁴⁾。脾内副脾とは脾内に先天的に存在する副脾であり、診断にはCTやMRIが用いられる。

脾内副脾に発生したepidermoid cystは比較的多い疾患である。近年、その疾患概念が広く知られるようになり、報告例は増加している。しかし、他の脾嚢胞性腫瘍と鑑別は困難であり、術後病理により確定診断される場合も多い^{5)~7)}。Epidermoid cystは脾尾部に発生する境界明瞭な嚢胞性腫瘍で、それに接する副脾を同定できれば画像診断も可能であるとされる。CTおよびMRIで、脾と同様の造影パターンを呈する部分や脾と同様の信号が認められる。特に超磁性体酸化鉄 (superparamagnetic iron oxide ; SPIO) 造影剤を用いたMRIは脾内副脾の同定に優れ、造影後T2強調像で脾と同様の信号低下を認めることから有用である⁸⁾。

本疾患は、脾嚢胞性病変と鑑別が難しいことがあり、鑑別診断としては脾粘液性嚢胞性腫瘍や脾漿液性嚢胞性腫瘍、脾管内乳頭粘液性腫瘍などが挙げられる。特に脾粘液性嚢胞性腫瘍を疑われ、外科的治療を受ける症例が多い⁹⁾¹⁰⁾。診断は病理学的に嚢胞周囲の脾組織を確認する必要があるが¹¹⁾、残存副脾の大きさが小さな症例では鑑別診断が困難である。

本症例では充実成分が造影CTで脾臓と同様の造影効果を呈し (Figure 1 矢印)、MRIにてT1強

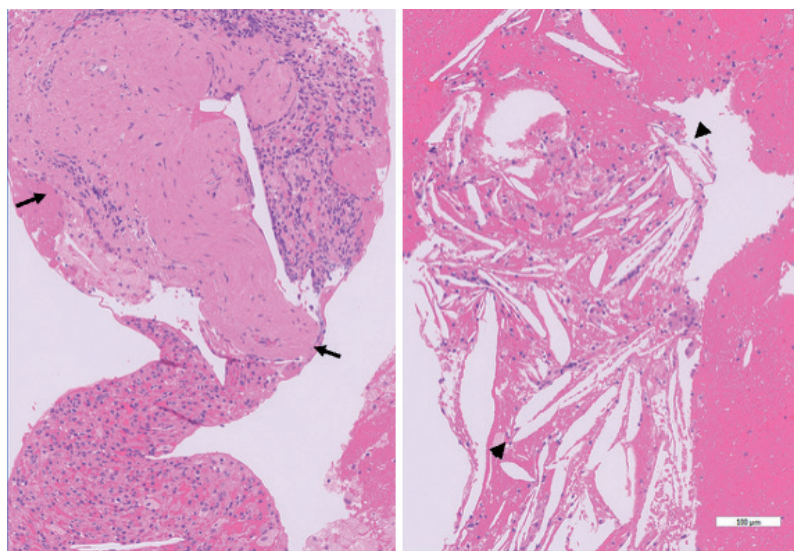


Figure 4. 病理組織所見 (HE 染色).

調像で低信号, T2強調像でやや内部不均一, 拡散強調画像にて拡散低下所見を呈した (Figure 2 矢印). SPIO 造影 MRI も撮像を試みたが, 途中で造影剤投与の末梢ルートが漏れてしまったため撮影できなかった. 超音波内視鏡 (EUS) では径 11mm, 境界明瞭で脾臓と同程度のエコーレベルの結節を確認でき (Figure 3 矢印), 嚢胞部分はモザイク状の高エコー領域を呈していた (Figure 3 矢頭). EUS では脾内副脾と思われる充実成分を確認可能で, epidermoid cyst に矛盾しない所見と考えた. 事前に説明の上患者から同意を得ていたことから EUS 下の生検を施行した. 病理検体ではリンパ球の集簇した脾組織を確認し (Figure 4 矢印), 多数のコレステリン裂隙と泡沫細胞を含んでいた (Figure 4 矢頭). 嚢胞の上皮成分は確認できなかったが, epidermoid cyst in accessory spleen の内容物およびその組織として矛盾はしない結果であり上記診断とした. 本症例は, 経過観察の方針とした.

本論文内容に関連する著者の利益相反
: なし

文 献

- 1) Davidson ED, Campbell WG, Hersh T: Epidermoid splenic cyst occurring in an intrapancreatic accessory spleen. *Dig Dis Sci* 25; 964-967: 1980
- 2) Osborn AG, Preece MT: Intracranial cysts: radiologic-pathologic correlation and imaging approach. *Radiology* 239; 650-664: 2006
- 3) Gayer G, Zissin R, Apter S, et al: CT findings in congenital anomalies of the spleen. *Br J Radiol* 74; 767-772: 2001
- 4) Mortelé KJ, Mortelé B, Silverman SG: CT features of the accessory spleen. *AJR Am J Roentgenol* 183; 1653-1657: 2004
- 5) 平田祐一, 有坂好史, 久津見弘, 他: Cyst in cyst 様構造を呈し, 脾粘液性嚢胞腫瘍 (mucinous cystic neoplasm; MCN) との鑑別が困難であった脾内副脾に発生した epidermoid cyst の 1 例. *日本消化器病学会雑誌* 112; 1858-1867: 2015
- 6) 川崎陽介, 土田 明, 佐々木民人, 他: 脾内副脾に発生した Epidermoid cyst の 1 例. *脾臓* 16; 391-396: 2001
- 7) 白石 治, 亀井敬子, 石川 原, 他: 脾内副脾 epidermoid cyst の 1 症例. *日本外科系連合学会誌* 33; 213-217: 2008
- 8) 山下康行: 脾臓. 肝胆脾の画像診断—CT・MRI を中心に一, 第 1 版, 学研メディカル秀潤社, 474-510: 2010
- 9) Li BQ, Lu J, Seery S, et al: Epidermoid cyst in intrapancreatic accessory spleen: A systematic review. *Pancreatology* 19; 10-16: 2019
- 10) 清水 淳, 栗原真帆, 陣崎雅弘: 脾胆道周囲の後腹膜腫瘍性病変—副脾—. *胆と脾* 45; 995-998: 2024
- 11) Tatsas AD, Owens CL, Siddiqui MT, et al: Fine-needle aspiration of intrapancreatic accessory spleen: cytomorphic features and differential diagnosis. *Cancer Cytopathol* 120; 261-268: 2012

(論文受領, 2025 年 5 月 20 日)
(受理, 2025 年 6 月 5 日)